

(公財) 諏訪郷友会 平成 29 年度事業計画

平成 28 年 11 月、公益法人移行後 2 回目の東京都による立入検査があり、主として前年度の組織運営・事業活動及び会計処理のそれぞれについて実態調査と、今後改善すべき事項の指摘を受けた。今年度以降この指摘事項の改善に取り組み、適正な法人運営に努める。

公益目的事業の柱である長善館運営は概ね順調に推移しているが、館生委員会とも協議を重ねつつ、生活環境の一層の充実を図ってゆく。

郷友会会員の研修交流事業である「郷友会ニュース」の発行、夏季及び秋季大会、オープンセミナー等も例年通り継続開催する。

郷友会の財政強化のため昨年度より開始した「財政健全化計画」は実施 2 年目となる。その概要は<別記>の通りであるが、目標額 350 万円の達成により財務体質の強化を図る。

<公益目的事業>

1、 学生寮長善館の運営

- 年間を通じて 40 室 40 名体制での運営
- 入館選考手続き規程の順守と選考過程の記録保存
- 館生委員会助成金の運用制度見直し

2、 研修交流会議の開催

- 夏季郷里大会開催 (8 月 20 日(日))
- 秋季大会開催 (10 月 15 日(日))
- 長善館オープンセミナーの開催 (夏季大会を含め 4 回を予定)

3、 会報等の発行

- 「諏訪郷友会ニュース」夏号・冬号の刊行

<収益事業>

1、 長善館駐車場の経営

- 新規契約者から、契約更新料制の導入を検討
- 未収金回収・支払い遅延の改善・敷金の正常化

2、太陽光発電による売電

- 発電装置の保全に努め、売電収益を確保

<法人運営>

- 理事会運営・役員を選任と責務・会計処理手続き等に関する規程の厳正な運用
- 平成 30 年 6 月に予定されている全役員改選に備えて、次期執行部体制・役員候補検討の開始

<事業計画別記>

諏訪郷友会「財政健全化計画」第2年度の概要

1、個人会員（特に卒館生）対象の育英事業協力金倍増キャンペーン

- 趣旨：施設設備機器の維持管理、将来の建替え等に備える資金の確保
- 募集期間：28年～30年度の3年間程度とする、
- 卒館生への納入依頼額は以下の通りとする。
 - ①納入実績のある会員には例年の倍額（1万円の方は2万円、5千円の方は1万円）とし、期間中の3年間はこの金額の納入をお願いする。
 - ②これまで納入実績の無い会員には納入開始を、また中断している会員には再開をお願いする。毎年1万円づつもしくは3万円一括でお願いする。
 - ③役員経験者（理事・評議員・監事）には、年間3万円をめぐりにお願いする。
 - ④一般会員にも、この趣旨に賛同し拠出をお願いする。
- 年間納入目標額：350万円とする。
- 募集方法：キャンペーン継続の趣旨を「郷友会ニュース」に掲載して周知し、振替用紙を同封する。以降期間中はニュースによる告知と実績報告を行う。

II 財政健全化小委員会の活動継続

- 昨年度発足した財政健全化小委員会において、協力金倍増キャンペーン以外の財務体質強化策の検討を継続する。